

製品名: デフェンシン α1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09902**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	DEFA1
別名	DEFA1; DEF1; DEFA2; MRS; DEFA1B; Neutrophil defensin 1; Defensin; alpha 1; HNP-1; HP-1; HP1
遺伝子 ID	1667.0
SwissProt ID	P59665
免疫原	抗血清はヒトデフェンシン α1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 3-52

背景

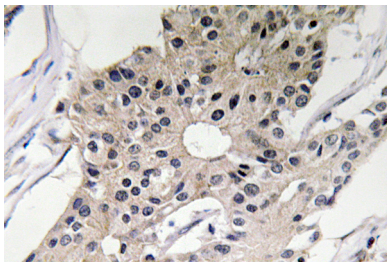
デフェンシン アルファ 1 (DEFA1) Homo sapiens デフェンシンは、抗菌性および細胞傷害性ペプチドのファミリーであり、宿主防御

に関与すると考えられています。これらは好中球の顆粒に豊富に存在し、腸、呼吸器、尿路、膣などの粘膜表面上皮にも見られます。デフェンシンファミリーのメンバーは、タンパク質配列が非常に類似しており、保存されたシステインモチーフによって区別されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質、デフェンシンアルファ1は、好中球の殺菌顆粒に存在し、食細胞を介した宿主防御に役割を果たしていると考えられます。いくつかのアルファデフェンシン遺伝子は、染色体8に密集しています。この遺伝子は、デフェンシンアルファ3と1つのアミノ酸のみ異なります。この遺伝子とデフェンシンアルファ3をコードする遺伝子は、両方ともコピー数変異の影響を受けます。[RefSeq提供、2014年10月],機能: デフェンシン1およびデフェンシン2は、抗菌、抗真菌、抗ウイルス活性を有する。グラム陰性菌およびグラム陽性菌に対して抗菌活性を有する。デフェンシンは、微生物の細胞膜を透過させることで殺菌すると考えられている。類似性: α -デフェンシンファミリーに属する。サブユニット: 二量体。,

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌組織におけるデフェンシン α 1抗体の免疫組織化学分析。